

## 平成30年第2回定例会（9月議会）

### 所管事項審査関係資料

平成30年9月14日

企 画 振 興 部

#### 【所管事項】

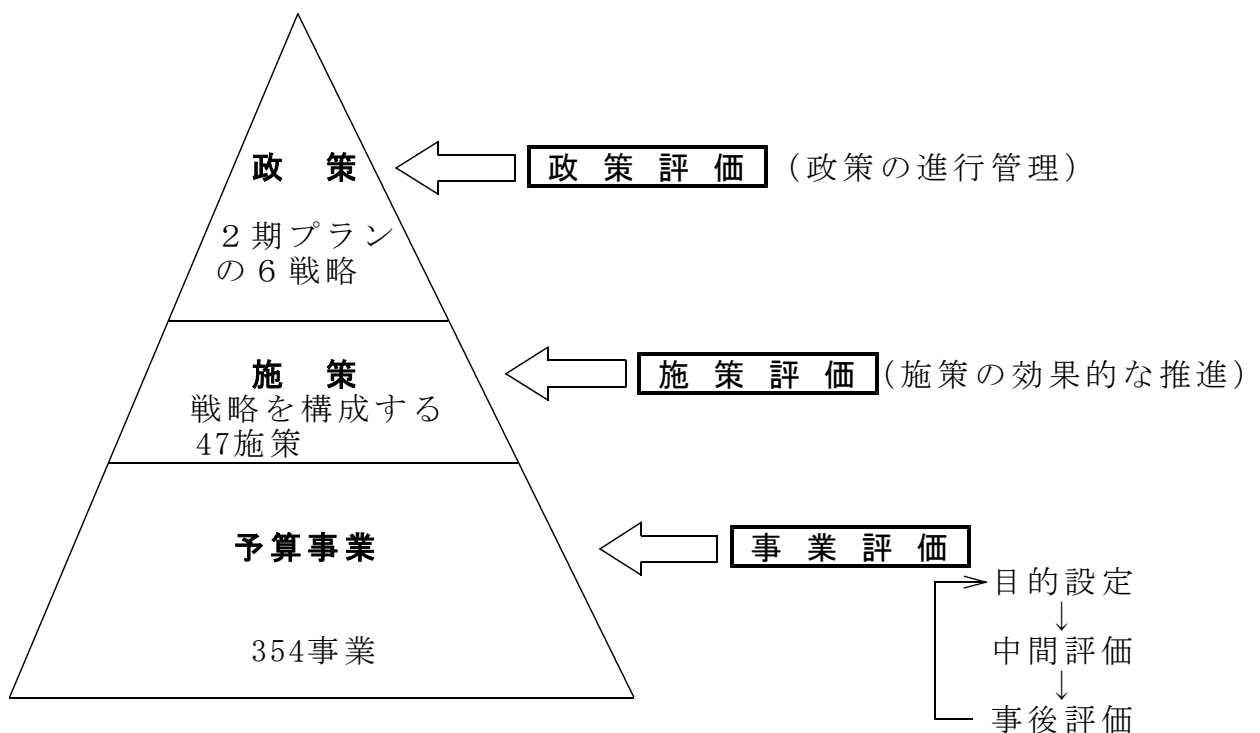
総合政策課 平成30年度政策等の評価の実施状況について . . . 1

# 平成30年度政策等の評価の実施状況について

総合政策課

各実施機関（知事、教育委員会、公安委員会及び警察本部長）が平成30年度（評価対象：平成29年度）に行った政策等の評価の実施状況は、次のとおりである。

## I 政策等の評価の体系と目的



- 政策等の評価は、目標数値に対する達成度などの評価に加え、目的に応じた事業の展開状況や、それぞれの政策を取り巻く外的要因の変化なども併せて、総合的に判断している。
- 実績の評価に当たっては、原則として平成29年度の数値等を使用している。

## II 知事が行った政策等の評価の実施状況（概要）

### 1 政策評価

（対象：「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の6つの戦略）

#### （1）評価結果別一覧

評価結果	件数	政 策
A	0	
B	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産業構造の転換に向けた産業・エネルギー戦略（戦略1）</li> <li>○国内外に打って出る攻めの農林水産戦略（戦略2）</li> <li>○未来の交流を創り、支える観光・交通戦略（戦略3）</li> <li>○元気な長寿社会を実現する健康・医療・福祉戦略（戦略4）</li> <li>○未来を担う教育・人づくり戦略（戦略5）</li> <li>○人口減少社会における地域力創造戦略（戦略6）</li> </ul>
C	0	
D	0	
計	6	

評価結果区分

A：目標達成

B：目標達成が8割以上

C：目標達成が6割以上8割未満

D：目標達成が6割未満

#### （2）評価の概要（戦略別の主な取組の状況）

戦略	評価の概要
戦略1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○代表指標では、「製造品出荷額等」、「県内大学生等の県内就職率」が目標に及ばなかった。「環境・リサイクル関連対象企業の製造品出荷額等」が目標を大きく上回ったほか、「企業の誘致件数及び誘致済企業等の施設・設備の拡充件数」が目標を達成した。</li> <li>○自動車産業、航空機産業においては、国際認証取得による特殊工程の導入等が進んでいる。また、風力発電については、秋田港・能代港における事業化や洋上風力発電の導入に向けた調査が進められている。</li> </ul>
戦略2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○代表指標では、「主な園芸作物の販売額」が、メガ団地の整備等により生産基盤の拡大が図られ、気象災害の影響を受けた中でも8割近い達成率となった。「秋田県産米の需要シェア」、「6次産業化に取り組む事業体の農業生産関連事業の販売額」が目標を達成した。</li> <li>○多様な水田農業の推進については、非主食用米の作付面積が目標を上回るなど、水田のフル活用が進められている。また、農業法人数が、法人化支援の取組により増加傾向にあり、法人等の担い手への農地集積も進むなど、経営規模の拡大が図られている。</li> </ul>

<p>戦略3</p>	<p>○代表指標では、「延べ宿泊客数」が目標に及ばなかったが、関連指標の「外国人宿泊者数」が目標を大きく上回った。「食料品・飲料等の製造品出荷額等」、「農産物・加工食品の輸出金額」が目標を達成した。</p> <p>○文化では、「新・秋田の行事」等のイベントの継続実施により伝統芸能等の継承と交流人口の拡大が図られている。また、スポーツでは、全国大会で活躍する高校生が出始めているなど、ジュニア層を中心とした育成・強化の成果が現れている。</p>
<p>戦略4</p>	<p>○代表指標では、「がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率」、「病院の勤務医師数」が目標に及ばなかった。「脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率」、「自殺による人口10万人当たり死亡率」が目標を達成したが、「自殺による人口10万人当たり死亡率」は3年連続で全国最下位となっている。</p> <p>○ねんりんピック秋田大会が開催され、52万人が参加し、健康づくりや生きがいづくりに対する気運の醸成が図られた。また、「介護サービス事業所認証評価制度」の運用が開始されたほか、認知症疾患医療センターが県内全ての二次医療圏に設置された。</p>
<p>戦略5</p>	<p>○代表指標では、「高校生の県内就職率」、「県内高等教育機関（7大学・4短大）の志願倍率」が目標に及ばなかった。「県学習状況調査における通過割合」（実際の正答率が設定正答率以上であった問題数の割合）、「地域で活動する行動人（こうどうびと）の人数」が目標を達成した。</p> <p>○英語教育に関しては、教員研修やイングリッシュキャンプ等の取組を通じて、英語学習への意欲の向上や英語による発信力の向上等という形で成果が現れている。また、小・中学生の千人当たりの不登校児童生徒数が全国最少となっており、児童生徒等が安心して相談できる環境の整備を行った成果が現れている。</p>
<p>戦略6</p>	<p>○代表指標では、「婚姻数」、「出生数」が目標に及ばなかった。「あきた結婚支援センターへの成婚報告者数」、関連指標の「認定こども園数」が目標を達成した。</p> <p>○子育て世帯に対する福祉医療費、保育料の負担については、全国トップクラスの支援が行われている。また、Aターン就職者数は、全国的な人材獲得競争の中にあって、きめ細かな相談対応等を行った結果、前年に比べ18.5%増加したものの、目標に及ばなかった。</p>

## 2 施策評価

（対象：「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の政策・施策体系上の42施策）

### （1）評価結果別一覧

評価結果	件数	主な施策
A	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○秋田米を中心とした水田フル活用の推進</li> <li>○秋田の食の魅力の磨き上げと県外への販路拡大</li> <li>○県と市町村の協働の推進</li> <li>○安全・安心なまちづくり</li> <li>○科学技術による活力ある地域づくり</li> </ul>

B	33	<ul style="list-style-type: none"> <li>○海外取引の拡大と産業拠点の形成</li> <li>○全国最大級の木材総合加工産地づくりの推進</li> <li>○県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進</li> <li>○いのちと健康を守る医療提供体制の充実強化</li> <li>○高等教育の充実と地域貢献の促進</li> <li>○官民一体となった少子化対策の推進</li> <li>○健全な県土保全の推進</li> <li>○環境保全と循環型・低炭素社会の形成</li> <li>○子ども・若者の育成支援の推進</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
C	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○秋田の成長を牽引する企業の育成と成長分野への新たな事業展開</li> <li>○秋田の産業を支える人材の育成</li> <li>○秋田への定着、移住・定住の拡大</li> <li>○子どもを産み・育てる環境の充実強化</li> </ul>
D	0	
計	42	

評価結果区分

A：目標達成

B：目標達成が8割以上

C：目標達成が6割以上8割未満

D：目標達成が6割未満

(2) 評価の概要 (主な評価結果)

評価結果	評価の概要
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「秋田米を中心とした水田フル活用の推進」(施策2-2)は、代表指標の「秋田県産米の需要シェア」が目標を達成している。また、関連指標のうち「非主食用米の作付面積」が目標を達成した。</li> <li>○「秋田の食の魅力の磨き上げと県外への販路拡大」(施策3-2)は、代表指標の「食料品・飲料等の製造品出荷額等」、「農産物・加工食品の輸出金額」が、ともに増加傾向にあり、目標を達成した。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「海外取引の拡大と産業拠点の形成」(施策1-4)は、代表指標の「秋田港国際コンテナ取扱量(実入り)」が目標に及ばなかったが、「企業の誘致件数及び誘致済み企業等の施設・設備の拡充件数」が目標を達成した。</li> <li>○「全国最大級の木材総合加工産地づくりの推進」(施策2-5)は、代表指標の「素材生産量」が目標を達成したが、関連指標の「スギ人工林間伐面積」、「林業従事者数」は目標に及ばなかった。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「秋田の産業を支える人材の育成」(施策1-5)は、県内就職の促進に向け雇用労働アドバイザーによるAターン求人の掘り起こしを実施し、第2期プラン期間中では最多のAターン就職者数となったが、目標に及ばなかった。</li> <li>○「子どもを産み・育てる環境の充実強化」(施策6-4)は、子育てサポーターの養成や子育て支援センターの設置・運営等の各種取組が順調に実施されているが、出生率は23年連続で全国最下位であり、「出生数」は目標に及ばなかった。</li> </ul>

### 3 事業評価

- (1) **中間評価** (対象：継続事業) (2) **事後評価** (対象：終了事業)

評価結果 (今後の推進方向)	件数
継続	212
改善して継続	36
見直し	0
休廃止	0
終了	22
計	270

評価結果 (事業の妥当性)	件数
妥当性が高い	16
概ね妥当である	22
妥当性が低い	0
計	38

### 4 公共事業箇所評価 (平成29年度に行った評価)

- (1) **中間評価** (対象：継続事業) (2) **事後評価** (対象：終了事業)

評価結果 (今後の継続・中止)	件数
継続	31
改善して継続	0
見直し	0
中止	0
計	31

評価結果 (事業の妥当性)	件数
妥当性が高い	6
概ね妥当である	4
妥当性が低い	0
計	10

### 5 研究課題評価

- (1) **中間評価** (対象：継続課題) (2) **事後評価** (対象：終了課題)

評価結果 (進捗状況)	件数
計画より大きな成果	0
計画より成果	8
計画どおり	17
努力が必要	0
継続意義は低い	0
計	25

評価結果 (研究成果)	件数
見込みを上回る	1
見込みをやや上回る	2
見込みどおり	8
見込みをやや下回る	0
見込みを下回る	0
計	11

## Ⅲ 教育委員会が行った政策等の評価の実施状況 (概要)

### 1 施策評価 (対象：「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の政策・施策体系上の5施策)

- (1) 評価結果別一覧

評価結果	件数	施策
A	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○確かな学力の定着と独創性や表現力の育成</li> <li>○生涯学習を行動に結び付ける環境と芸術・文化に親しむ機会づくり</li> </ul>

B	3	○自らの未来を切り開き社会に貢献する人材の育成 ○豊かな心と健やかな体の育成 ○良好で魅力ある学びの場づくり
C	0	
D	0	
計	5	

評価結果区分

A：目標達成

B：目標達成が8割以上

C：目標達成が6割以上8割未満

D：目標達成が6割未満

## (2) 評価の概要

評価結果	評価の概要
A	<p>○「確かな学力の定着と独創性や表現力の育成」(施策5-2)は、代表指標の「県学習状況調査における通過割合」が目標を達成したほか、関連指標の「中学3年生の英検3級以上取得率」が、全国2位であった。また、高校3年生の準2級以上の取得率は全国1位となった。</p> <p>○「生涯学習を行動に結び付ける環境と芸術・文化に親しむ機会づくり」(施策5-5)は、代表指標の「地域で活動する行動人(こうどうびと)の人数」が目標を達成した。また、関連指標の「国・県指定等文化財の新規件数(累積)」は、国指定重要文化財(建造物)の指定があったほか、県指定を進めることで着実に増加しており、目標を達成した。</p>
B	<p>○「自らの未来を切り開き社会に貢献する人材の育成」(施策5-1)は、代表指標の「高校生の県内就職率」が目標に及ばなかったが、商工会への早期求人呼びかけや就職支援員等による求人開拓の取組により、平成24年度以降で最も高くなった。</p> <p>○「豊かな心と健やかな体の育成」(施策5-3)は、代表指標の「学校のきまり(規則)を守っている児童生徒(小6、中3)の割合」、「新体力テストにおける小・中・高の偏差値の平均」が目標に及ばなかったが、それぞれ99.6%、96.6%と高い達成率であり、全国平均値を上回った。</p> <p>○「良好で魅力ある学びの場づくり」(施策5-4)は、代表指標の「授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合(小6、中3)」が目標に及ばなかったが、98.4%(小6)、95.1%(中3)と高い達成率であり、全国平均値を上回った。</p>

## 2 事業評価

(1) **中間評価** (対象：継続事業)

(2) **事後評価** (対象：終了事業)

評価結果 (今後の推進方向)	件数
継続	23
改善して継続	11
見直し	0
休廃止	0
終了	1
計	35

評価結果 (事業の妥当性)	件数
妥当性が高い	7
概ね妥当である	4
妥当性が低い	0
計	11

## IV 公安委員会及び警察本部長が行った政策等の評価の実施状況 (概要)

### 1 政策評価

(対象：「平成29年秋田県警察運営の基本方針と重点目標」における重点目標のうちの4項目)

#### (1) 評価結果別一覧

評価結果	件数	政 策
A	2	○少年非行防止・保護総合対策の推進 ○被害者支援の推進
B	2	○犯罪の起きにくい社会づくりの推進 ○交通死亡事故の抑止
C	0	
D	0	
計	4	

評価結果区分

A：目標達成

B：目標達成が8割以上

C：目標達成が6割以上8割未満

D：目標達成が6割未満

#### (2) 評価の概要（主な評価結果）

評価結果	評価の概要
A	○「少年非行防止・保護総合対策の推進」については、児童・生徒に直接的な指導を行う非行・犯罪被害防止教室、大学生少年サポーターによる少年の立ち直り支援活動、スクールサポーターによる学校や地域と連携した活動等の各事業を積極的に実施した結果、非行少年数が7年連続、少年人口比も5年連続で減少した。
B	○「犯罪の起きにくい社会づくりの推進」については、秋田県地域安全ネットワークを活用した情報発信活動や地域住民の要望把握活動、地域安全活動に対する支援等を実施したほか、地域における犯罪情勢の的確な分析に基づく犯罪の抑止対策、街頭キャンペーン等の広報啓発活動を実施した。地域や罪種によっては増加した犯罪があるものの、刑法犯認知件数が16年連続で減少し、検挙率も11年連続で50%を超えている。



## 2 施策評価

### (1) 評価結果別一覧

評価結果	件数	施策
着実に推進	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進</li> <li>○「秋田県地域安全ネットワーク」の活性化及びこれを基盤とした社会の規範意識の向上と絆づくりの推進</li> <li>○高齢者対策を最重点とする総合的な交通事故防止対策の推進</li> <li>○交通事故抑止に資する交通指導取締りの推進</li> <li>○安全で快適な交通環境の整備</li> <li>○非行少年を生まない社会づくりの推進</li> <li>○被害者の視点に立った警察活動の推進</li> </ul>
改善を図りながら推進	0	
見直しが必要	0	
計	7	

### (2) 評価の概要（主な評価結果）

評価結果	評価の概要
着実に推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進」については、地域の犯罪情勢を分析し、犯罪情勢に即した犯罪抑止対策を推進したほか、犯罪の多発地域に街頭防犯カメラを設置した結果、刑法犯認知件数の減少と高水準な刑法犯検挙率を維持している。</li> </ul>

## 3 事業評価

(1) **中間評価** (対象：継続事業)

(2) **事後評価** (対象：終了事業)

評価結果 (対応方針)	件数
現状維持で継続	10
見直して継続	0
休廃止	0
計	10

※今年度は対象事業なし